

ドクターNAKAMURAの 健康道場



Vol.8 体内裁判所 法廷(2)

御手洗透氏が心筋梗塞を発症したことにより、心筋細胞が体内裁判所に訴えを起こしたが、動脈硬化のDV発言により、論争は思わぬ方向に。

裁判官：動脈硬化さんはDVを受けていたと発言しましたが間違いありませんか？

動脈硬化：間違いありません。私は血圧、悪玉コレステロール、血糖、ニコチンに入れ替わり立ち代わりひどいことをされ続けていました。しかも、善玉コレステロールは近くを通り過ぎるだけで見て見ぬふりでした。私たちが崩壊するまで誰も何も手助けをしてくれませんでした。

血糖：ちょっと待たらんかい。大人しゅ～聞いてったら、ええように言うてけつかる。ええんかいな、何なら消えたるか？ わいがおらんかったらどないなことになるか分かつとんやろな。血糖がゼロになったら生きていけませんで～。ええんやな。

意識もなくなりませ～。

悪玉コレステロール：そもそも、うちが悪いんちゃうで。腸が次から次と吸収してくるよってあかんのや。

腸上皮：ちょっとお待ちください。我々は、業務を忠実に行っているだけです。腸流の中から、できるだけ多くの栄養素を吸い上げているのです。流れてくる栄養素が多ければ多いほど血中の血糖も悪玉コレステロールも中性脂肪も多くなっていくのは当たり前ではないでしょうか？元をただせば、次から次へと口にものをに入れてしまう御手洗透そのものがいけないのではないのでしょうか？

裁判官：(カンカン) お静かに。それでは判決を言い渡します。主文。血液君は無罪。動脈硬化を生涯封じ込めの刑に処す。そして、御手洗透本人は市中引き回しの上、……。。

気が付くと転寝をしていた。夢を見ていた。情けない。自分は責任を他の何かに転嫁しようとしている。よくなるのも自分。悪くなるのも自分。その結果を受け入れなければいけないのも自分、すべて自分次第なのである。まずはできることからやっっていこう。地道に、こつこつと。

そよかせ 循環器内科・糖尿病内科
(県立中央病院 前)

院長 中村 陽一